

このコーナーでは、国土交通省の各機関等から個別に発信されている河川行政に関する情報（政策・制度、予算、発注見通し、個別河川の情報、災害状況等）を集約・選択・分類してお届けします。（赤字は4/9～4/13の1週間に発表された情報です）

（※ 当面の間はどなたでもご覧いただけますが、近々会員限定サイトとする予定です）

## 【政策・制度などに関する情報】

年月日	発信主体	タイトル	補足・解説
H30.4.10	国土交通本省	<a href="#">水災害分野において、ハード対策を含めた気候変動適応策の検討を開始します～「気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会」を開催～（2018年4月9日）</a>	「水防災意識社会再構築」への取り組みはともすれば「ソフトのみ」との“誤解”を受けていました。今回の取り組みは「ハード」を主役にするとお見受けしました。
	国土交通本省	<a href="#">水防災意識社会 再構築ビジョン</a>	ハード・ソフトともに現在の河川行政のベースとなる考え方です。
	国土交通本省	<a href="#">くらしと経済を支える河川整備等インフラのストック効果</a>	逆に言えば、治水施設がなければ、私達はこれだけの水害リスクを背負って生活しなければならないということです。
	国土交通本省	<a href="#">ダム再生ビジョン</a>	下流の河川の整備状況などの変化に応じて、ダムの持つポテンシャルをさらに活用できるということです。

## 【予算に関する情報】

年月日	発信主体	タイトル	補足・解説
H30.3.30	国土交通本省	<a href="#">平成30年度水管理・国土保全局予算配分概要（平成30年3月）</a>	全体額と基本的な考え方が示されています。「中小河川も含めた全国の河川において、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に実施」がキーセンテンスです。
H30.3.30	国土交通本省	<a href="#">水管理・国土保全局 事業実施箇所</a>	個別河川における実施予定箇所の市町村までが示されています。
H30.3.30	北海道開発局	<a href="#">平成30年度北海道開発局関係予算について（PDF:17.7MB）</a>	千歳川遊水地群（継続）の他、雨竜川のダム再生事業の新規着手などが掲載されています。
H30.3.30	東北地方整備局	<a href="#">東北地方整備局平成30年度東北地方整備局の事業概要（PDF:71KB）</a>	雄物川激特事業や成瀬ダム（継続）などが掲載されています。
H30.3.30	関東地方整備局	<a href="#">平成30年度関東地方整備局関係予算の概要について</a>	鬼怒川緊急対策プロジェクト（継続）や、荒川調節池の新規着手などが掲載されています。
H30.3.30	北陸地方整備局	<a href="#">平成30年度北陸地方整備局関係予算の概要</a>	信濃川・大河津分水路改修などが掲載されています。
H30.3.30	中部地方整備局	<a href="#">平成30年度中部地方整備局関係予算の概要</a>	新丸山ダム（継続）などの他、矢作ダム再生事業の新規着手などが掲載されています。
H30.3.30	近畿地方整備局	<a href="#">平成30年度近畿地方整備局予算～平成30年度当初予算の配分について～</a>	近年水害があった熊野川、紀の川、由良川、桂川などの緊急治水対策などが掲載されています。
H30.3.30	中国地方整備局	<a href="#">平成30年度中国地方整備局関係予算概要</a>	江の川上流河川改修事業における新規着手などが掲載されています。

H30.3.30	四国地方整備局	<a href="#">平成30年度四国地方整備局関係予算の概要</a>	那賀川・仁淀川の災害対策、吉野川などの河川改修が掲載されています。
H30.3.30	九州地方整備局	<a href="#">平成30年度 予算概要（九州地方整備局関連分）</a>	筑後川水系の災害復旧、城原川ダムの新規着手などが掲載されています。
H30.3.30	沖縄総合事務局	<a href="#">平成30年度 予算記者発表について</a>	

【発注見直しなどに関する情報】

年月日	発信主体	タイトル	補足・解説
H30.4.4	北海道開発局	<a href="#">北海道地方の発注の見直し（平成30年4月4日時点版）（XLSX:580KB）</a>	開発局以外の発注情報も一括して掲示されています。
H30.4.2	東北地方整備局	<a href="#">東北地方整備局平成30年度4月期 発注見直しについて(PDF:1114KB)</a>	
H30.4.2	関東地方整備局	<a href="#">平成30年度(4月期)発注予定情報</a>	
H30.3.30	北陸地方整備局	<a href="#">平成30年度の発注見通しの公表についてのお知らせ</a>	(現時点でこのページを見る限りは、個別の発注情報は不明です。)
H30.4.2	中部地方整備局	<a href="#">平成30年度 工事及び業務の「発注見直し」の公表</a>	
H30.4.2	近畿地方整備局	<a href="#">近畿地方整備局が平成30年度に発注（公告）を予定する工事の公表について(平成30年4月現在)</a>  <a href="#">近畿地方整備局が平成30年度に発注（公告）を予定する建設コンサルタント業務等の公表について(平成30年4月現在)</a>	
H30.4.3	中国地方整備局	<a href="#">平成30年度発注見通しの公表について（平成30年度4月以降）</a>	
H30.4.2	四国地方整備局	<a href="#">平成30年度4月期発注見通しの公表について(PDF1.2MB)</a>	
H30.4.2	九州地方整備局	<a href="#">九州地方整備局における平成30年度の工事及び業務の発注見直し公表（4月時点）について</a>	
H30.4.3	沖縄総合事務局	<a href="#">沖縄総合事務局開発建設部における平成30年度（4月以降）発注予定工事及び業務の公表について</a>	

【個別河川のプロジェクト・計画に関する情報】

年月日	発信主体	タイトル	補足・解説
H30.2.28	国土交通省本省	<a href="#">河川防災ステーションを新たな賑わいの場に ～市町村等と連携して平常時の利活用を推進～（2018年3月28日）</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道大空町 網走川 「大空地区河川防災ステーション」</li> <li>静岡県菊川市 菊川 「下内田地区河川防災ステーション」</li> <li>愛知県西尾市 矢作川 「志貴野地区河川防災ステーション」</li> </ul> の3箇所が新規に登録されました。
H30.3.8	北陸地方整備局	<a href="#">大河津分水路改修事業起工式を挙行します ～抜本的改修の本格工事の着手に向け～</a>	治水関係者にとっては「世紀の大事業」と言っても過言ではないと思います。いよいよ本格的に始まります。

H30.3.7	北陸地方整備局	<a href="#">千曲川右岸築堤改修事業(須坂市福島・長野市若穂地区) 起工式を開催します</a>	長野県須坂市と長野市を守る堤防工事が本格化します。
---------	---------	--	---------------------------

【平成 30 年度の入札・契約方式などに関する情報】

年月日	発信主体	タイトル	補足・解説
H30.3.29	四国地方整備局	<a href="#">平成 30 年度「四国地方整備局総合評価落札方式等に係る実施方針」を策定(PDF2.2MB)</a>	地域建設業の担い手確保、受発注者双方の事務負担軽減などの観点から、いくつかの変更が加えられています。
H30.4.9	沖縄総合事務局	<a href="#">「工事の総合評価方式(建設系)ガイドライン等に関する説明会」の資料</a>	

【その他建設産業に関わる情報】

年月日	発信主体	タイトル	補足・解説
H30.4.12	中国地方整備局	<a href="#">災害発生時に支援していただける企業を募集します</a>	太田川河川事務所の取り組みです。建設業の力の見せ所ではないでしょうか。
H30.4.11	関東地方整備局	<a href="#">平成 30 年度 工事事務防止「重点的安全対策」～工事安全対策の向上に向けた具体的な安全対策の策定～</a>	工事事務の防止は、今、建設業に従事している皆さんにとっても、また、将来の担い手確保のためにも大変重要な事項です。「基本に忠実」がキーワードです。 事故の多くは当たり前のことを当たり前やらなかったことに起因しています。
H30.4.06	四国地方整備局	<a href="#">いざという時、地元建設業が地域を守る(PDF50.78KB)</a>	四国地方整備局と四国 4 県の建設業協会との協定です。社会情勢の変化に合わせた協定の見直しです。
H30.4.9	関東地方整備局	<a href="#">「災害時における河川災害応急復旧業務に関する協定」について荒川下流河川事務所は 18 社と追加締結しました。新たに「復旧資機材の水上輸送」や「水上からの応急復旧」が可能な企業として 4 社と締結しました。</a>	当協会会員では、下記の各社が協定を締結しています。いざというときに、大きく貢献していただけることが期待されます。 【一般土木(タイプA)】 ・東亜建設工業(株) ・東洋建設(株) ・松尾建設(株) ・(株)本間組 ・関口工業(株) ・(株)ユーディーケー ・鈴木工業(株) 【一般土木(タイプB)】 ・大豊建設(株) ・五洋建設(株) ・りんかい日産建設(株) 【ゲート施設】 ・豊国工業(株)東京支店 ・(株)丸島アクアシステム東京支店 ・日東河川工業(株)
H30.3.30	関東地方整備局	<a href="#">働き方改革に取り組める週休 2 日モデル工事を開始します～建設業の働き方改革を推進する観点でこれまでのモデル工事を見直します～</a>	発注者指定型工事の追加、取組証発行条件の緩和などがポイントです。

H30.3.26	関東地方整備局	<a href="#">大規模災害に備え、関係行政機関等による包括協定を締結 ～全国展開している大手建設会社を含めた支援体制を構築～</a>	マネジメントが的確であってはいじめて建設会社の持つ力を万全に生かすことができます。今回は関東地整が総括的な調整役を担うことが明確化されました。
H30.3.20	関東地方整備局	<a href="#">利根川上流河川事務所 関東初の週休 2 日完全達成工事の取組証授与</a>	週休 2 日の確保は、今現場で働く方々にとっても、将来の担い手を確保するためにも、非常に重要です。 なお、関東地方整備局では、8 割の達成率で「履行実績取組証」が発行され、次の工事の総合評価の際に加点されます。
H30.3.19	関東地方整備局	<a href="#">「渡良瀬川河川事務所における応急復旧に関する災害協定」を締結しました。</a>	当協会会員企業のうち、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・石橋建設工業(株)</li> <li>・岩澤建設(株)</li> <li>・河本工業(株)</li> </ul> が、災害時を想定して渡良瀬川河川事務所と協定を締結しました。
H30.3.14	関東地方整備局	<a href="#">1 月、2 月南岸低気圧による大雪に対する国道 298 号の雪害対応功労者 30 社に感謝状を贈呈 ～「昼夜の雪害対策に尽力された 30 社へ感謝状を贈呈します」～</a>	建設産業は災害対応時の「地域の守り神」です。河川関係の表彰ではありませんが、当協会の会員企業のうち、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関口工業(株)</li> <li>・東鉄工業(株)</li> <li>・(株)ユーディーケー</li> </ul> に感謝状が送られます。
H30.3.14	国土交通本省	<a href="#">簡易型河川監視カメラの開発に参画する企業等を公募します ～革新的河川技術プロジェクト(第三弾)の始動～(2018 年 3 月 14 日)</a>	先進的な技術が水害被害を減少させます。特に観測体制が十分ではない中小河川の沿川住民にとっては期待が大きいと思います。
H30.3.9	中部地方整備局	<a href="#">建設コンサルタント業務等における「一括審査方式」の試行を開始～受発注者双方の負担軽減を図ります～</a>	受発注者双方の負担軽減を目指した取り組みです。
H30.3.8	中国地方整備局	<a href="#">甚大な災害が発生した際に応援して頂ける企業者を募集します。</a>	福山河川国道事務所の取り組みです。河川では芦田川と高屋川が対象になっています。
H30.2.26	中部地方整備局	<a href="#">3 月 1 日より“建設技術フェア 2018 i n 中部”の出展募集を開始します！～10 月 17 日・18 日「建設技術フェア 2018 I n 中部」を吹上ホールで開催～</a>	企業の PR になるだけではなく、将来の担い手の確保という点からも重要な取り組みです。ぜひ積極的に応募されてはいかがでしょうか。
H30.2.26	関東地方整備局	<a href="#">災害時における応急復旧活動に協力いただける企業を公募します 「応急資機材の水上輸送」や「水上からの応急復旧」が可能な企業も新たに公募します。</a>	荒川下流河川事務所の取り組みです。「水上」というのが独自のキーワードです。(結果は 4 月 9 日に公表されています)